

創

—第 67 回—

きかせてナガノさん

9月議会も終わり少しゆっくり：といきたいところですが、毎年この時期から来年度予算の編成作業が始まります。

まずは来年度の景気状況を予測し、税収がどうなるか。それに合わせて支出のバランスをどう取るか。甘い見立てより、かなり厳しめの予測をする訳ですが、来年度もコロナ禍の状況で大幅な収入不足とそれに伴う貯金の取り崩しが必要になりそうです。

今年度は貯金を取り崩さず予算編成したように、事前にそれらも見越した財政運営をしてきましたので、突如財政破綻したり大きく見通しが変わる事ありませんのでご安心を。引き続き緊張感を持って取り組みます。

さて、最近は各地域での行事などが制限され、以前のよ



別府市長
長野 恭紘

うに直接皆さんにお会いして話をする機会が減りました。仕方ないとはいえ寂しいですね。皆さんの声を直接お聴きする事が私の原点であり、最も大切な姿勢です。それと同時に「自分の言葉で直接お伝えする」事も、とても大切です。

今回、皆さんの身近な疑問やご意見に対して直接お答えする機会ができました！『ケイブルテレビの『きかせてナガノさん』というコーナー。毎週土曜・日曜の朝8時半、午後2時半、夜10時半に放送されます。

手探りのスタートですが、皆さんの本当に聞きたい情報をわかりやすくお伝えする機会にしたいと張り切っています！ぜひ楽しみにしてください。



フォトべっぷ



実践に学ぶ—10月2日、ビーコンプラザで協働のまちづくり講演会が開催されました。講師の櫻井常矢さんが、各地の課題解決に向けた取組事例を紹介しながら講演を行い、地域づくりについて考える機会になりました。



温泉の恵みに感謝—9月23日、鉄輪地区で鉄輪湯あみ祭りが開催されました。集まった地域の人たちは、鉄輪温泉の開祖と言われる一遍上人の像に湯かけを行い、今後の無病息災を願いました。



野菜を育て、「食」に意識を—食品ロスに対する啓発の促進などを目的に、別府市リサイクル情報センターで野菜の種の配布を行いました。バジル、ルッコラ、リーフレタスの種を1,500袋用意し、訪れた市民の皆さんに配布しました。



秋の実りを地域で学ぶ—サッカーチームのヴェルスパ大分がホームタウン活動の一環で、亀川小学校5年生とともに内竈堂面棚田の稲刈りを行いました。選手と子どもたちは声を掛け合いながら鎌で稲を狩り、地域の農業を体験しました。